

# これからのまちを考えるシンポジウムを開催します

市では、白岡駅周辺の整備を進めていくほか、全ての世代のかたが安心して快適に暮らし続けることができる持続可能なまちを実現していくため、「立地適正化計画」の策定を進めています。この計画は、居住や福祉・医療・商業などの施設を、都市全体を見据えながら長期的に誘導していく計画です。

今後、人口減少を迎える中で、変化するまちをどのようにして魅力的な空間にしていくか、まちづくりの専門家のお話などを聞きながら、いっしょに考えてみませんか。



しみず よしづか 氏  
清水 義次 氏

1949年山梨県生まれ  
都市・地域再生プロデューサー  
(株)アフタヌーンソサエティ代表取締役  
(一社)公民連携事業機構代表理事

都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築・都市・地域再生プロデュース、家守事業プロデュースを行っている。なかでも現代版家守業の実践と啓蒙に注力し、千代田区神田・裏日本橋地区や新宿歌舞伎町に続いて、北九州市小倉魚町を再生する小倉家守プロジェクトにおいてリノベーションまちづくりのビジネスモデル構築を行っているなど、数多くの地域再生プロジェクトに取り組んでいる。

- **日時** 2月26日(土)午後1時30分～4時(受付▶1時)
- **会場** 生涯学習センター[こもれびの森]多目的ホール
- **内容** 第1部 立地適正化計画の策定について  
第2部 基調講演「縮退時代の新しいまちづくり(仮)」 しみず よしづか 氏  
第3部 パネルディスカッション「これからのまちを考えよう(仮)」
- **定員** 50名(先着順)
- **申込み** ①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 を明記の上、街づくり課にメール、電話またはFAX
- **問合せ** 街づくり課都市計画担当 ☎0480(92)1111 内線203  
✉machi@city.shiraoka.lg.jp ☎0480(93)5038

※新型コロナウイルス感染症拡大により中止する場合は市公式ホームページでお知らせします。

## 多面的機能支払交付金事業 ～農業資源を守る活動を支援します～

農地には、作物を作るだけでなく、洪水を防ぐ、生き物を育むなど、多面的な機能があります。市では、この多面的な機能を将来にわたって守っていくために、地域ぐるみのさまざまな活動に支援を行っています。活動組織を設立し、事業計画と5年間の活動計画書などを添えて市の認定を受けることにより、農地面積に応じた交付金が支払われます。

### 1 農地維持支払交付金

- **対象**  
農業者のみで構成される活動組織または農業者と農業者以外の地域住民を含む活動組織
- **対象となる活動**  
農地のり面や農道・水路などの草刈、農道の路面維持、水路の泥上げなどの日常管理  
農業施設の点検  
活動計画の策定  
研修活動  
農地の保安全管理構想の作成



水路の草刈



農道の路面補修

### 2 資源向上支払交付金

#### 共同活動

- **対象**  
農業者と農業者以外の地域住民を含む活動組織
- **対象となる活動**  
農地・農道・水路の軽微な補修  
農業施設の機能診断  
生き物調査などの生態系保全  
植栽活動などの景観形成



生態系保全  
(田んぼの生きもの調査)

#### 長寿命化

- **対象**  
農地維持支払交付金と同様の活動組織
- **対象となる活動**  
農道・水路などの施設の補修や更新



老朽化した水路壁のコーティング

#### ■ 交付単価 (国が1/2、県及び市が1/4を負担)

対象事業		単価(10アール当たり)	
農地維持支払交付金		田 3,000円	畑 2,000円
資源向上支払交付金	(共同活動)	田 2,400円	畑 1,440円
資源向上支払交付金	(長寿命化)	田 4,400円	畑 2,000円

#### ■ 申請期間

4月1日(金)～5月31日(火)  
(土・日曜日、祝日を除く)

#### ■ 問合せ

農政課 土地改良担当  
☎0480(92)111 内線242・243